

高退協ニュース

No.238
2022年
9月6日
発行
高知高退協
事務局

〒780-0850

高知県高等学校退職教職員協議会
高知市丸ノ内2丁目1-10
高知城ホール高教組気付
連絡先 088(822)6822
郵便振替口座 016500211893

8.15戦争を語りつぐつどい

戦争の真実を忘れず

伝え続けよう



新型コロナウイルス新規感染者が毎日10000人を超えたり、熱中症警戒アラートが出たりする中でしたが、高知市中央公園北口・帯屋町アーケードで、「8.15戦争を語りつぐつどい」を開催しました。まあ暑かった。実行委員会での開催ですが、主管が高退協の順番だったので、開会挨拶は田中正高退協副会長が行いました。「あの悲惨な戦争が二度と起こらないように：平和が永久に続きますように」と、戦争の真実

を忘れず伝え続けようとのつどいの趣旨を皆で確認し、体験者より戦争の悲惨さを聞き、憲法改正に反対する根拠を共有し、さらにロシアによるウクライナ侵攻を止



「私たちは訴えます」のビラを配る高退協の熊沢青年部長(?)

つどいでの高教組からの訴え

こんにちは。高知県高等学校教職員組合です。私たちは長年、「教え子を再び戦場に送らな」をスローガンに、民主的かつゆきとどいた教育の実現を目指してきました。

ロシアによるウクライナ侵攻などを踏まえ、政府が防衛予算を倍増する意向を示したことは皆様ご存じのとおりです。倍額の規模は5兆円以上と言われていています。これによって、他の予算が削られる恐れがないとは限りません。例えば、教育予算。今から10年ほど前、高校授業料の完全無償化が実現していました。しかし2014年度から所得制限が設けられています。



一方では非正規雇用の増大に加え、終息しないコロナ禍や物価高騰などにより、家庭が教育に使うお金を捻出しにくくなっています。教育への公的支出が期待できなくなれば、教育は置き去りになり、格差はますます広がるでしょう。国の予算は軍事ではなく、未来ある子どもたちのために使われなければなりません。

また、政権与党は改憲を推し進めようとしています。改憲案からは、戦争の放棄という言葉が消えていて、第9条に国防軍の保持についての記述が加えられています。第98条では、武力攻撃などによる緊急事態宣言が発せられた時に取るべき行動について触れられています。ニュースなどで、ウクライナの惨状が日々報道されています。人の命、生活、環境、そして人の心をも破壊する戦争。あらゆる戦争に道理はありません。暴力を排除し、平和を守り抜くことにこそ道理があります。

憲法改悪は許せません。今の日本国憲法、この平和憲法を守ることは「教え子を再び戦場に送らない」という私たちの願いそのものです。
高知県高等学校教職員組合・田村美佐

めさせるよう世論を高めようとして力強く語りました。リレートークでは、戦争の語り部として平和資料館の岡村正弘さん、青年の立場から民青の岡田はるかさん、働く者の立場から

県労連の筒井敬二さん、憲法をまもる立場から憲法会議の飯田清久さん、平和運動の立場から平和委員会の山崎悦子さん、高校現場の立場から高教組の田村美佐さん、小中学校の現場、最後に平和を願うて、来年度主管の退婦教の森敦子さんが締めくくりました。



高退協事務局員でもある高知憲法会議の飯田さんの訴え

した。(高退協事務局 小松茂弘)